

プレスリリース
報道関係者各位



2025年5月29日
情報産業労働組合連合会

戦後80年の節目に平和を次代に継承する「平和中央集会」を開催 ～講談師 神田香織が語る「はだしのゲン」に学ぶ日常を奪う戦争～

情報通信業や通信建設業などに従事する労働者が組織する産業別労働組合である情報産業労働組合連合会（中央本部：東京都千代田区、中央執行委員長：安藤京一、以下「情報労連」）は、終戦から80年という重要な節目を迎える今年、戦争・被爆体験者の減少により、戦争の惨禍や歴史が風化しつつある現状を受けて、過去の教訓を次世代へと継承し、平和の尊さを再確認するために「戦後80年平和中央集会」を開催しましたので、お知らせします。

【戦後80年に関するページ】<https://www.joho.or.jp/peace>

【平和運動に関するページ】<https://www.joho.or.jp/category/contribution/peace>

<背景>

2025年は、終戦・被爆から80年という大きな節目の年です。戦禍の記憶が薄れつつある一方で、平和の大切さを改めて問い直し、未来に向けてその教訓を継承する重要な一年となります。国際情勢が揺れ動く現代において、平和の意義を社会全体で共有し、行動に移すことが求められています。

情報労連は、情報通信業や通信建設業に携わる労働者が集い、働く人々の権利と暮らしを守ることを目的として結成された産業別労働組合です。その活動の根底には、「平和なくして労働運動なし」という強い信念があります。「創り育てる平和」をシンボルフレーズに掲げる情報労連は、一人ひとりの行動を通じて平和を実現することを目的に、長年にわたり平和運動に取り組んできました。その活動は、情報労連に加盟するNTT労働組合の前身組織である全電通（全国電気通信労働組合）の取り組みに端を発しており、現在までに75年の歴史を積み重ねています。中でも「平和四行動（沖縄ピースすて～じ：1993年開始、広島ピースフォーラム1989年開始、長崎平和フォーラム：1990年開始、北方領土返還要求平和行動IN根室：1988年以降開始）」には、累計で2万人以上が参加し、組織の枠を超えて多くの組合員が平和の実現に向けた意識を共有してきました。

戦後80年という歴史的な節目に際し、情報労連はこれまでの経験をさらに発展させ、未来に向けた新たな平和運動をスタートさせます。本集会を通じて、社会全体が平和の大切さを共有し、行動につなげるきっかけを創出することを目指しています。

<集会概要>

- ・名称：情報労連 戦後 80 年平和中央集会
- ・日時：2025 年 5 月 23 日（金）18 時 30 分～20 時 00 分
- ・場所：一ツ橋ホール（〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2 丁目 6-2）

<集会次第>

- ・主催者あいさつ（中央執行委員：安藤京一）
- ・議員あいさつ（組織内参議院議員：吉川さおり）
- ・特別講演（講談師：神田香織）
　　演目：「講談 はだしのゲン」
- ・取り組み紹介（中央執行委員：永渕達也）
- ・アピール案採択（副書記長：大方幹子）
- ・閉会あいさつ（書記長：水野和人）



▲中央執行委員長 安藤京一
主催者あいさつ



▲講談師 神田香織
「講談 はだしのゲン」

<2025 年の平和運動 詳細>

■平和教材のデジタルアーカイブ化

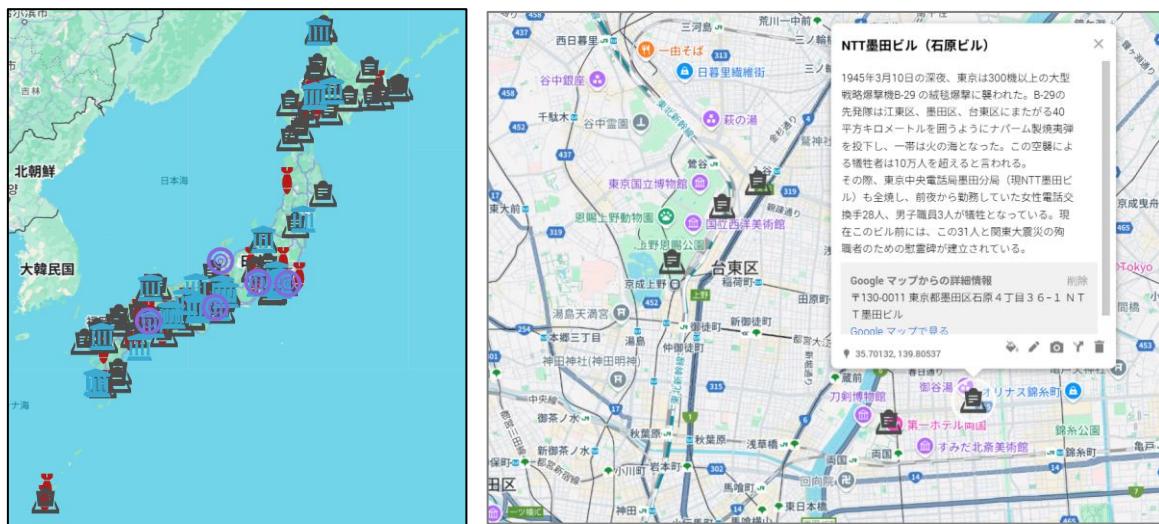
情報労連ならびに構成組織は、過去から平和運動を強く推進し様々な書籍やビデオなどの教材を作成しておりますが、一元的に管理されていなかったことから、戦後 80 年の節目にあわせ、これまで作成してきた 100 点以上の教材を整理、一覧化するとともに、デジタル化、オンライン化します。これにより、組合員などが教材にアクセスしやすい環境を整備するとともに、貴重な教材の散逸、破損を防止します。



▲アーカイブ化した教材の一部

■ 「未来につなぐピース Map」作成

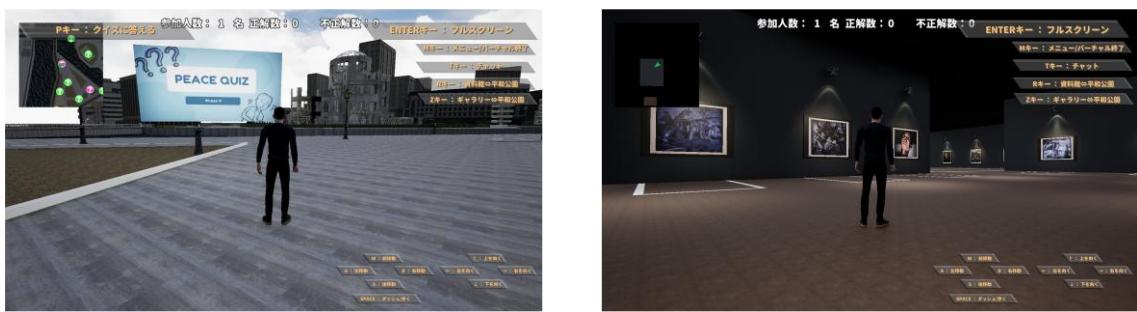
身近に残っている戦争に関わる慰霊碑や戦跡、資料館などについて、160超の情報（名称、所在地、写真など）を組合員から収集し、一つの地図にプロットした「ピース Map」を作成しました。収集の過程や完成した地図を見ることで、身近な場所にも多くの戦禍が存在したことを改めて認識するとともに、戦争や平和について考えるきっかけを提供します。



▲未来につなぐピース Map

■ 「バーチャル広島平和記念公園」

広島の平和祈念公園などを模した「バーチャル広島平和記念公園」を8月1日から8月31日にかけて開放、提供します。平和に関する施設を訪れるることは、戦争や平和について考える貴重な機会ですが、現地への訪問が難しい場合もあります。そこで、自宅のPCやスマートフォンからアクセスできる「バーチャル広島平和記念公園」を用意しました。戦禍の実態を学べる解説動画や、学んだ内容を振り返るクイズなどを備えており、ゲーム感覚で楽しめる操作性が特長です。そのため、子どもたちも気軽に触れやすくなっています。



▲「バーチャル広島平和記念公園」内の様子

■情報労連平和四行動

情報労連は、「平和なくして労働運動なし」との基本認識のもと、在日米軍基地整理縮小と日米地位協定の抜本的見直し、核兵器の廃絶、領土問題の早期解決ならびに世界の恒久平和に向け、継続して平和運動に取り組んでおります。とりわけ特徴的な取り組みが、戦争の悲惨さ・平和の尊さを現地で実感し、参加者が再発信する「平和四行動」です。沖縄、広島、長崎そして北海道（北方領土）において毎年60～130人にのぼる参加者を募り、平和学習会などを開催しています。

※ 2024年の平和四行動の概要動画

https://www.youtube.com/watch?v=V_JVXd4nmSU&list=PLnxZzIFevHqx61ZZB7b-97W6QEmj-I0do

<2025年の開催予定>

1. 2025 沖縄ピースすて～じ

(1) 日 程：2025年6月23日（月）～25日（水）

(2) 参加規模：150人

(3) 内 容：

【1日目】連合2024平和オキナワ集会、結団式

【2日目】戦跡・基地学習行動（糸数アブチラガマ、嘉数高台、瀬嵩の浜・辺野古漁港⇒道の駅かでな）

【3日目】慰靈式（遁魂之塔）戦跡学習（平和祈念資料館、平和の礎、ひめゆりの塔、魂魄の塔）平和学習（講演、解団式）

(4) 前年の行動模様



▲糸数アブチラガマへの入塙



▲辺野古新基地建設現場の視察



▲沖縄戦で亡くなった通信職員
を祀る「遁魂之」での慰靈式



▲広島へのフラッグリレー

【開催報告】<https://www.joho.or.jp/contribution/post-10856-10856>

2. 広島ピースフォーラム 2025

(1) 日 程：2025年8月4日（月）～6日（水）

(2) 参加規模：150人

(3) 内 容：

【1日目】導入学習、被爆体験証言、特別講演、情報労連慰靈式（基町ビル、比治山ビル、袋町ビル）

【2日目】ピースウォーク、平和記念資料館見学、被爆建物見学、連合 2025 平和ヒロシマ集会

【3日目】黙祷（「広島市平和祈念式典」放映）、被爆体験記朗読、まとめ集会

(4) 前年の行動模様



▲被爆体験証言



▲情報労連慰靈式



▲ピースウォーク（原爆ドーム）



▲まとめ集会

【開催報告】<https://www.joho.or.jp/contribution/post-10891-10891>

3. 2025長崎平和フォーラム

(1) 日 程：2025年8月7日（木）～9日（土）

(2) 参加規模：150人

(3) 内 容：

【1日目】学習会第1部（被爆体験講演、長崎原爆資料館見学）

【2日目】被爆遺構めぐり、学習会第2部（講演、万灯・折り鶴作成、戦争体験記朗読、連合 2025 平和ナガサキ集会）

【3日目】被爆後 80 年電通労働者原爆被爆死没者慰靈式

(4) 前年の行動模様



▲平和に関する作品展



▲手話を交えた歌唱



▲万灯の作成



▲被爆遺構めぐり

【開催報告】<https://www.joho.or.jp/contribution/post-10932-10932>

4. 2025 北方領土返還要求平和行動 IN 根室

(1) 日 程：2025年9月6日（土）～7日（日）

(2) 参加規模：70人

(3) 内 容：

【1日目】情報労連平和学習会（領土問題学習、元島民二世講演、特別講演）、夕食交流会

【2日目】連合2025平和ノサップ集会（望郷の岬公園）・DVD上映・資料館見学・まとめ集会

(4) 前年の行動模様



▲情報労連平和学習会



▲連合平和ノサップ集会

【開催報告】<https://www.joho.or.jp/contribution/post-10962-10962>

■戦後80年情報労連平和宣言

1945年の終戦から今年で80年となるが、この長い年月を経てもなお、日本には課題が山積したままである。「米軍基地の整理・縮小」、「日米地位協定の抜本的見直し」は遅々として進まず、唯一の戦争被爆国であるにもかかわらず政府は核兵器廃絶に消極的であり続け、北方領土問題は解決の糸口も見えない。さらに、近年は防衛費が急増され、これまでの平和主義がないがしろにされている。

また、世界に目を向ければ、民族や宗教の対立、力による現状変更を試みる大国のエゴによって、ウクライナやガザ、ミャンマーといった各地での戦争、紛争、市民への弾圧が後を絶たない。いかなる理由があろうとも、人権を無視し尊厳を破壊する愚かな行為は決して容認されるものではなく、直ちに停止すべきである。あの悲惨な戦禍を経験し多くの犠牲を払ったはずの人類は、その反省を忘れようとしている。だからこそ私たちは、あきらめることなく平和運動を続けていかねばならない。

80年もの年月により、実体験を元に記憶を継承できる戦争体験世代が、総人口の1割程度となった今日、不戦と平和への誓いを次代に継いでいくことこそが、今を生きる私たちの責任である。そしてそれは、単に戦争の事実を数字で語り伝えるということではない。当時も今と変わらぬ日常の営み、幸せな暮らしがあり、それらが戦争によって無惨に破壊されたことを想像し、その悲劇を自分事として捉え、沸きあがつた感情を他者に伝えることが、次代への継承となる。

情報労連は『創り育てる平和』をシンボルフレーズに、一貫して世界の恒久平和を希求する運動を積み重ねてきた。平和とは、単に戦争や紛争のない状態をいうのではなく、人間が尊厳を持って安心・安全な生活を続けることができる共生社会を指す言葉である。情報労連は、平和を創り育てていくために、一人ひとりの人権を相互に尊重し、差別や偏見に抗い、未来への責任ある対応を果たすとともに、核兵器廃絶、世界の恒久平和の実現に向けて、全力で行動し発信していく。以上、宣言する。

2025年5月23日
情報産業労働組合連合会
戦後80年情報労連平和中央集会

■情報労連の平和運動に関する参考ページ

『戦後75年』平和行動特設ページ

<https://www.joho.or.jp/contribution/post-6642-6642>

情報労連リポート（※）2024.08-09月号 特集「世界の戦争／紛争と日本の平和運動」

（※）情報労連は毎月発行する機関誌

<http://ictj-report.joho.or.jp/2408-09/>

情報労連リポート 2023.08-09月号 特集「平和の訴えを止めない 安全保証環境の変化と平和運動」

<http://ictj-report.joho.or.jp/2308-09/>

情報労連リポート 2022.5月号 特集「沖縄復帰 50年復帰に託した願いと次の時代に託す思い」
<http://ictj-report.joho.or.jp/2205/>

情報労連リポート 2020.08-09月号 特集「平和運動の新展開」
<http://ictj-report.joho.or.jp/2008-09/>

情報労連リポート 2018.5月号 特集「『平和四行動』に向けていま知っておきたいこと」
<http://ictj-report.joho.or.jp/1805/>

■情報労連について

情報労連は、情報通信・情報サービス産業、通信建設業を中心とした産業別労働組合で、NTT労組、KDDI労組、ソフトバンク労組などが加盟し、約230組合、19万人の組合員で構成しています。また、「複合産別」として、印刷・運輸・製造・建築・ビルメンテナンス・医療・福祉などの労働組合も加盟しています。

「私たちは、信頼と共に感を礎に、社会的価値ある労働運動を推進し、誰もが暮らしやすい社会の実現をめざします」を基本理念に据え、組合員のみならず、すべての人々が安心して暮らし、働き続けられる社会の実現に向け、様々な活動に取り組んでいます。

■情報労連の概要

名 称：情報産業労働組合連合会（情報労連）

所 在 地：〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-6 全電通労働会館5階

組織人員：233組合、約19万人（2024年10月現在）

加盟業種：情報通信・情報サービス・通信建設・印刷・運輸・製造・建築・ビルメンテナンス・医療・福祉など

目 標：情報労連は信頼と共に感を得る産業別労働組合として「産業政策」の確立と実現とより多くの仲間を結ぶ「組織拡大」を重視しています。雇用や労働条件の方向性を明示して安心感を醸成すること、そしてより多くの仲間が集まるこによって、より大きな力を発揮することが産業別労働組合の役割だと考えています。

公式HP：<https://www.joho.or.jp/>

■本件についての報道関係のお問い合わせ先

情報労連中央本部 運動推進局 担当：永渕

TEL：03-3219-2231 E-mail：suishin@joho.or.jp